

●平成26年11月20日(木)  
通勤には電車を利用し



名古屋北労働基準監督署長 田中哲夫 たなかてつお 28

たった今座りしばかりの席なれど老女きたれば無言にて立つ

徹尾

朝8時、署長室に入ると机と応接セットのテーブルの上に決裁箱が10箱積まれていた。次長以下、残業をして処理したことがよくわかる。思わず礼をして決裁を始めた。

そこで思いついたのだが、この日いただいた今回の「名北の空の下」の原稿依頼は、毎日の感想や出来事についてメモしたことを書かせていただくこととした。

●11月21日(金)  
相当早いのだが、建設業、金融広告業の大手の方が、それぞれ年末の挨拶にと来署いただいた。来年に向けての抱負を交換しあう。

労働局から架電あり。確認の電話だった。過重

労働解消キャンペーン月間における監督を積極的に実施するよう職員に指示した。

衆議院解散。昨年は町内会長として選挙の立会人を要請されたが、報酬が出るというので、倫理上の問題が顕在化、家族に代わってもらった記憶が甦る。ともかく、年度



内予算成立を祈る。

方面の監督官は、当番監督官一人を残し全員臨検監督のため不在。総合労働相談員が窓口で大活躍している。一部に好景気だとされているが、申告相談は増加している。

●11月25日(火)  
労働職員は算定基礎調査で半数が外出。いよいよ年末近し。

今朝の幹部会議の署長

指示内容を吟味する。会議開催後、暴力行為対策要領による訓練を実施。暴行犯の役は山田次長。予定にはなかったが、「署長を出せ」と大声で叫ぶ。松田安全衛生課長がその様子を撮影した。

午後、事務審査を通過した労災診療費700件が署長室に運びこまれる。今月も多い、ため息をつく。

●11月26日(水)

小春日和。今年の晩秋は、特に暖かい。署長室から見る主税町公園の公孫樹の黄葉が見事。労災局署検討事案を決裁する。夕刻は新人監督官を含む若手数人と味噌煮込みうどんを食べた。

●11月28日(金)  
朝、方面・安全衛生課会議に出席。12月の業務目標を確認。安定行政へ

徹尾

●11月28日(金)  
朝、方面・安全衛生課会議に出席。12月の業務目標を確認。安定行政へ

の協力として臨検の際に障害者雇用についての周知をするよう指示。昼休み、近在のウイルあいち内の図書館に赴く。先日紹介をした永井陽子の歌集を発見。そのまま彼女の歌にある東片端の楠に会いに行った。

●平成26年12月1日(月)  
職場の年末安全衛生推進運動月間(12月)と国家公務員倫理週間(12/1-12/7)が始まる。

職員に周知。防災防名古屋北分会との年末合同パトロール、冒頭挨拶と激励をする。今回は行政から9名の参加で、過去最多。

●12月2日(火)

年末の挨拶に来署される方、予約をいただく方が多数。いよいよ師走。来週は、行事がいくつかわるので、逆算すると時間がないことが判明。殴り書きしてきたメモを横目に本件原稿作成にとりかかる。

イラスト・伊藤栄章